

# 北見武道通信

令和7年8月14日 00756号

編集者:佐藤寿春

北見市幸町8丁目4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

URL <http://www.kitamibudokan.org/>

[satou.tosiharu@navy.plala.or.jp](mailto:satou.tosiharu@navy.plala.or.jp)



## ニュースレター【事務局情報】

### 高校弓道部の北見合宿が始まる！

8月5日(火)「本別高校弓道部」の北見合宿を皮切りに、8月8日(金)

まで「札幌北陵高校弓道部」や近隣の「網走南ヶ丘高校弓道部」も参加し合宿を行いました。9日(土)には「北見柏陽高校・北見緑陵高校弓道部」も合同稽古を行い北見市武道館はフル稼働となりました。〈佐藤 事務所の花シリーズ「フロックス」



ピンク、白、藤色、濃色赤、ミックス多様類花が長く咲き華やかに今1番に庭を飾っています。〈渋谷〉

## 短編小説 猫

猫があたりをうろついている。

いつの間に部屋に入ってきたのだろうか。気付けば背後でかざりと音がしていた。

猫はそのまま、無言で部屋を散策している。

なにがそんなに面白いのだろうか。本棚の低いところにある本のおいをくんくんとかいでいる。

そんな猫の様子を見たら、こちらもなんだか肩の力が抜けてきた。仕事を一段落させ、軽く伸びをしてみる。

ひとつ大きな息が出た。手近にあるコップの飲み物を口に含む。頭はぼんやり、今やっていた仕事の事を考えている。あれはあれで、かたがつくものだろうか。

猫が机の近くにやってくる。彼にしか分からぬ通り道で斜めに机を横切っていく。

これも猫の仕事のうちなのだろう。それを淡々と遂行しているのに過ぎないのではないか。

私は仕事を中断した気安さで、そんなことを考えていた。

口の中に残っていた飲み物を、同じもので更に奥へと流し込んだ。〈ゆいか〉

## 連載「武道宝鑑」第2弾 磯貝 一 〈柔道指導の心得〉 二、指導上に心得べきこと

○個性の尊重 2

こういう点では、昔の道場は、今日より優れていたようである。今

日学校などでは、<sup>だんたいてき</sup>団体的に教授することも行われているが、これも、事によっては必要なことで、またその特徴もたしかにある。しかし、真に<sup>てきせつ</sup>適切なる指導は、団体的な指導では出来ない。どうしても個人個人について、真にその人の<sup>しん</sup>天賦を十分に<sup>てんぶ</sup>発揮せしめるという事にしなければならない。此處に二つの例を挙げてみよう。修行者は多くの場合、次の何かに当てはまる。即ちその一つは、始めから本筋道を通る修行者で、他の一つは、始めは本筋でなくある時期になって本筋に入る人である。前者は始めから姿勢といい態度といい、また技といい、本筋で柔道の理に叶った練習をして上達する性質のものであり、後者は始めの間、力が主で、随分無理もあり、柔道の精神的の方面から見て随分の<sup>ずいぶん</sup>欠陥もありがちであるが、一旦それを鍛えぬいて、ある時期に達すると、<sup>ほんぜん</sup>翻然として本筋を発見し技術上の無理も癖もなくなり、<sup>くせ</sup>精神的欠陥もなくなり、立派に道の体得者になるものである。つづく